

本日は第32回富山リコーダーアンサンブル定期演奏会にご来場いただきありがとうございます。
コロナ禍がいつ終息するかわからない中、開催できたことほっとしています。また、このような状況下に足を運んでいただいた皆様に本当に感謝申し上げます。最後までリコーダーアンサンブルの響きを楽しんでいただければ幸いです。

新型コロナウイルスによる感染が世界中に広まり始めた時、練習中に万が一感染して職場や地域の方々に影響を与えることを心配して練習できない方が出てしまいました。さらに感染拡大防止の影響を受けて数ヶ月間練習会場が閉鎖になり練習ができない状態が続きました。いろいろな不安や、みんなと一緒に練習できない状態にストレスが溜まって一人落ち込んでしまいました。その時点で今年の演奏会は見合わせたらという意見もありましたが、感染予防対策しながら頑張ろう！毎週みんなと一緒に演奏することが楽しいから、前に向かって進もう！ということになりました。

アンサンブルっていいですね。6月から練習会場が使用できるようになり練習を再開。忘れかけていた曲想。一音一音を確かめながら、みんなで顔を見合わせ一緒にハーモニーを楽しむことが出来ました。癒されました。音楽のもつ力は凄い！と実感いたしました。そして再び演奏会に向けて頑張ろう！と心が一つになったように思えました。

今後何回定期演奏会を開催できるかわかりませんが、健康に気を付けて一回、一回を大切に、皆さんと一緒に楽しんで取り組んでいきたいと思っています。いつまで経っても未熟な私たちですが、今後とも温かく見守っていただければ幸いです。
今日は、本当にありがとうございました。（代表 郷倉）

指揮・指導 芹川 勝

演奏メンバー 穴山 彊 島林 寛
遠藤 智子 濱下 千春
久保 恭子 本多 一彦
郷倉 茂 松本 美津子
越川 靖彦 渡辺 真知子

(アイウエオ順)

HP <http://ricoan.sakura.ne.jp>

連絡先 郷倉 090-8968-9214



富山リコーダー アンサンブル program

第32回定期演奏会

2020年

10月25日(日) PM 2:00 開演

アイザック小杉文化ホール ラポール
ひびきホール

主催：富山リコーダーアンサンブル

後援：射水市教育委員会、北日本新聞社

プログラム

第 1 部

- | | |
|--|-----------|
| 1. カンツォン「隣のローランド」 | S. シャイト |
| 2. シャコニー | H. パーセル |
| 3. 前奏曲とフーガ短調 BWV558 | J.S. バッハ |
| 4. 王宮の花火の音楽 | G.F. ヘンデル |
| 序曲／ブーレ／シチリアーノ「平和」
アレグロ「歓喜」／メヌエットⅠ・Ⅱ | |

* * * 休憩 * * *

第 2 部

- | | |
|--|-------------|
| 5. 楽器紹介 「木星」より | G. ホルスト |
| 6. アヴェ・ヴェルム・コルプス KV618 | W.A. モーツァルト |
| 7. 赤とんぼ | 山田 耕筈 |
| 8. エル・チョクロ | A. ヴィジヨルド |
| 9. バラの香り | H.J. テシュナー |
| おはよう、マツユキソウさん／踊るラッパズイセン
バラの香り／ユリのタンゴ／蝶の草原 | |

曲目解説

- カンツォン「隣のローランド」** S. シャイト
シャイト（1587-1654）は、ドイツ初期バロックの作曲家・オルガン奏者で、ハレ市の音楽監督を務めました。曲は、合奏曲集「音楽の楽しみ」に含まれている曲で、当時の弦楽器であるヴィオラ・ダ・ガンバのための作品です。
- シャコニー** H. パーセル
パーセル（1659-1695）は、イギリスバロックの作曲家で、36 歳の若さで世を去るまで、あらゆる分野にわたってすぐれた作品をのこしました。曲は、バス・パートの旋律の上に 18 回の変奏が繰り広げられていきます。
- 前奏曲とフーガ短調 BWV558** J.S. バッハ
バッハ（1685-1750）のオルガンのための作品「8つの短い前奏曲とフーガ」の第6番目の曲です。長い間バッハの作品とされていましたが、最近の研究では作曲者不詳となっています。
- 王宮の花火の音楽** G.F. ヘンデル
ヘンデル（1685-1759）が、1749年に「アーヘンの和約」の祝典で行われる花火大会のために作られた管弦楽作品です。初演は野外で行われました。花火が打ち上げられる前に演奏される序曲、花火の合間に演奏されるいくつかの舞曲からできています。
- 楽器紹介 「木星」より** G. ホルスト
ホルスト（1874-1934）の管弦楽組曲「惑星」第4曲「木星」の中間部の旋律で、7種類（ソプラニーノ、ソプラノ、アルト、テナー、バス、グレートバス、コントラバス）の各リコーダーを紹介します。
- アヴェ・ヴェルム・コルプス** W.A. モーツァルト
モーツァルト（1759-1791）が、妻コンスタンツェの療養の世話をした合唱指揮者アントン・シュトルツのために作曲した混声合唱と弦楽合奏のための作品です。モーツァルト晩年の傑作とされています。
- 赤とんぼ** 山田 耕筈
山田耕筈（1886-1965）が、三木露風の詞に作曲した童謡です。三木露風の幼少の頃、子守の背中で見た赤とんぼの思い出を描いた傑作です。
- エル・チョクロ** A. ヴィジヨルド
ビジヨルド（1861-1919）が1903年に作曲したタンゴです。「エル・チョクロ」とは、スペイン語で「とうもろこし」という意味です。
- バラの香り** H.J. テシュナー
テシュナー（1945-）は、ドイツの作曲家・ロックジャズギターリストです。曲は、2003年に作曲されたリコーダー四重奏のための5つの小品からなる曲で、様々な花のイメージをリコーダーで表現した作品です。